急性白血病のお話

血液•細胞療法部

血液には3種類の細胞が含まれています

	機能	不足すると・・・
赤血球	酸素の運搬	酸素欠乏
白血球	免疫	感染症
血小板	止血	出血症状

急性白血病とは

■白血球系の若い細胞に生じた悪性腫瘍です

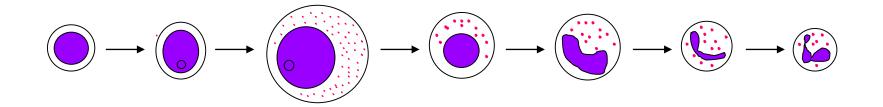
■どの細胞が腫瘍化したかによって急性骨髄性

白血病(AML)と急性リンパ性白血病(ALL)に

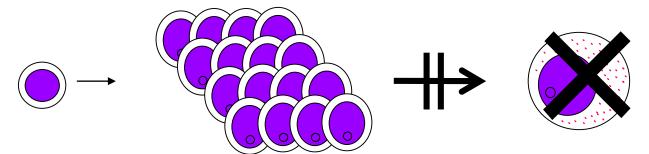
区別されます

■正常な白血球造血

幹細胞 骨髄芽球 前骨髄球 骨髄球 後骨髄球 杆状核球 分葉核球



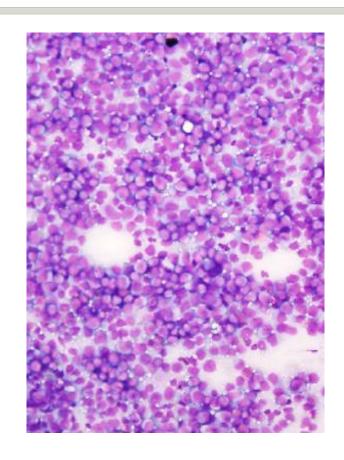
■急性白血病における白血球造血

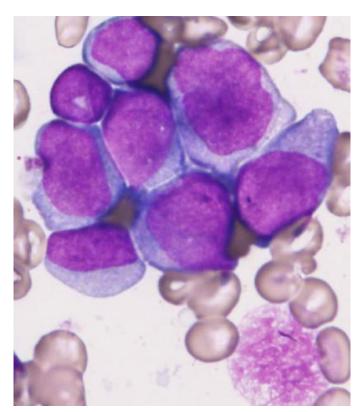


幼若な芽球(白血病細胞)の増殖

分化・成熟がストップ

急性白血病の骨髄像



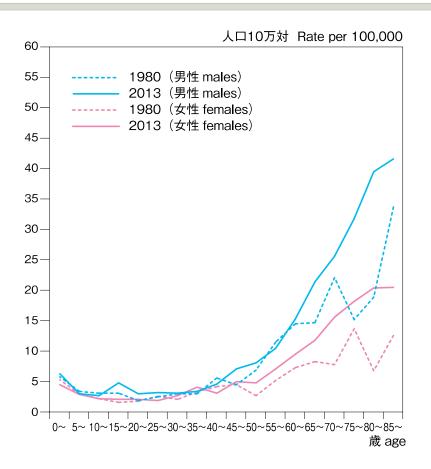


造血の場である骨髄が白血病細胞によって埋め尽くされています

急性白血病になると

- 骨髄の中で白血病細胞が増殖します
- ■正常な血球(赤血球,白血球,血小板)を産生するスペースが奪われ血球減少が進行します
- 貧血, 感染, 出血などの諸症状が出現し, 最終的には生命に危機が及ぶ状態となります

急性白血病の疫学



- 白血病の年罹患率は10万 人あたり約5人で,うちAML は3人,ALLは1人程度です
- 生涯でみると、数百人に1 人が白血病を発症すること になります
- 発症年齢のピークはAMLでは65-70歳, ALLでは10歳 未満です

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl/index.html

悪性腫瘍の治療

- 1手術
- 2 放射線照射
- ③ 抗癌剤の投与=化学療法

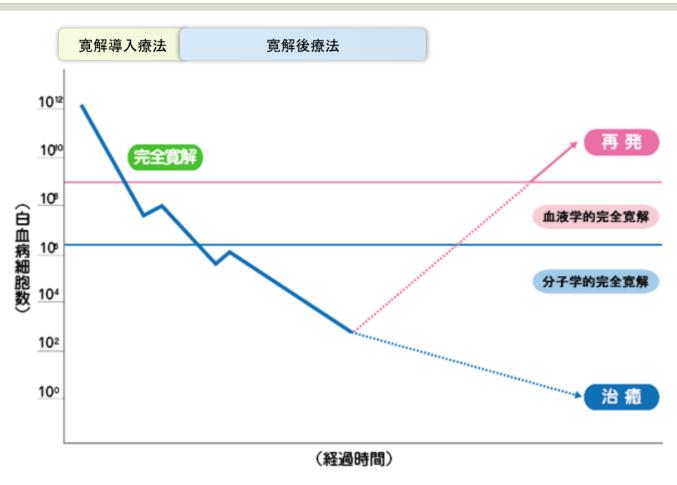
急性白血病の治療は 3 となります

急性白血病の治療

- 寛解導入療法 悪い状態を良い状態に戻すための治療
- 寛解後療法 良い状態を長期に維持するための治療

病型によって治療内容が異なるため、治療を開始する前に的確かつ迅速な診断が重要となります

治療の流れ



https://ganjoho.jp/public/cancer/ALL/treatment_option.html

治療関連白血病とは

- 抗癌剤や放射線照射を受けた患者は、その後に白血病を発症するリスクが高まることが知られています
- ■過去の治療から数年以上たってから起こります
- 抗癌治療による長期生存者が増えるにつれて、 晩期合併症として重要性が高まっています

まとめ

- 急性白血病は、全体としてみると高齢者に多いですが、若年者にも発症します
- ■血球減少に伴って貧血症状, 感染, 出血が出現し, 進行すると生命に危険を及ぼします
- ■化学療法による治療効果が期待できる病気です